

関西電力株式会社
取締役社長 森本 孝 様
原子力事業本部長 松村孝夫 様
高浜発電所長 木島和夫 様
大飯発電所長 文能一成 様

抗議および申入れ

今、新型コロナウイルス（以下、「新型ウイルス」と略）が蔓延し、全世界の人々がこれを押し込める対策に腐心、努力しています。

ところで、この「新型ウイルス」の感染は、原発施設にも広がろうとしています。すでに、九州電力玄海原発の特定重大事故対処施設（いわゆるテロ対策施設）の建設工事関係者や、東京電力柏崎刈羽原発に勤務する東京電力社員から感染者が見つかっています。九州電力では、工事を一時中断し、請負業者の約 300 人を出勤停止にしています。

しかし、関西電力（以下、関電と略）は、「新型ウイルス」の感染が全国に拡大している今でも、高浜原発 4 号機、大飯原発 3、4 号機の運転を継続しています。

関電で原発運転に責任のある皆様は、「新型ウイルス」蔓延の中で原発が重大事故を起したら、どうなるとお考えですか？

集団避難のバスの中での、あるいは避難先で何カ月も何年も続く集団生活の中での「新型ウイルス」感染を防ぐことは至難です。大勢の感染者が出ます。医療崩壊が起こります。そのようにお考えになりませんか？

しかも、高浜原発、大飯原発から 100 km の圏内には福井県、京都府、滋賀県、大阪府、兵庫県の多くの部分が含まれます。福島原発事故では、事故炉から 50 km 以上離れた飯館村も全村避難になったことを考えあわせると、高浜原発や大飯原発が重大事故を起せば、これらの地域が避難対象になる可能性もあります。例えば、両原発から約 30～70 km に位置する京都市が避難対象になれば、市民約 150 万人が放射線被曝に加えて「新型ウイルス」感染の危機にさらされます。それでも貴社・関電は、稼働中の原発を停止させないのみならず、危険極まりない老朽原発の再稼働まで画策しているのです。

一方、「新型ウイルス」感染が原発内に拡がったらどうなるのでしょうか？

原発では、通常運転時で 1500 人規模、定期点検時には約 3000 人の作業員が働き、通勤時のバスの中、作業前後の放射線測定のための待機場所、脱衣所、中央制御室を含む勤務場所、休憩室などで「密閉、密集、密接（3密）」の環境にさらされます。作業員の中には、関西など「新型ウイルス」が猛威を振るう地域から来る人も多数います。例えば高浜原発は、1 班 12 人で構成する 5 つの班が 1 日 3 交代で運転していますが、感染者が出た場合、当該シフトの運転員のみならず、他のシフトの運転員も濃厚接触となり、5 班体制の維持が困難になります。感染発生のために、原発を停止させたとしても、停止後も冷却や安全管理のために専門的な知識や技術を有する作業員が多数必要です。その人々の間に「新型ウイルス」が蔓延するような事態になれば、原発の安全が保たれなくなることは、関電の皆様なら十分ご想定のことだと推察します。

ところで、最近、関電の原発関連工事で、人身事故が続いています。

昨年 9 月 19 日、老朽原発・高浜 1、2 号機のいわゆるテロ対策施設建設用のトン

ネル内で溶接作業にあたっていた 9 人が一酸化炭素中毒で救急搬送されました。事故の起こったトンネルには外気を取り込む送気ダクトが設置されていなかったと報道されています。

今年 3 月 13 日には、高浜原発 1、2 号機の敷地内にある掘削中の作業用トンネルで、発破準備作業の協力会社社員が、後退してきたトラックにはねられ亡くなりました。お亡くなりになった社員は耳栓をし、トラックに背を向けていたと報道されています。関電は、この死亡事故によって、高浜原発 1、2 号機で進めている安全対策工事などの行程を見直し、1 号機では工事完了時期が 4 カ月遅れ、9 月にずれ込むと発表しました。

しかし、その直後の 4 月 11 日にも、高浜原発 1 号機の安全対策工事を行っていた協力会社の社員が、脚立から転落し、骨盤を折る重傷を負われました。

これらの人身事故の全てが、老朽原発再稼働のために行われていた作業中のものです。老朽原発を無理に動かそうとして、安全な労働環境づくりを怠ったために起こった事故です。経済的利益のみを優先して進められる老朽原発再稼働の準備が、悲劇を呼んでいるのです。

昨年 9 月に発覚した原発マネーに関する不祥事は、関電には、企業倫理を大切に、法令を遵守する意識が欠落していることを明らかにしています。この不祥事は、脱原発・反原発の民意を蹂躪して危険極まりない原発を推進する過程で生じたものです。関電は、この不祥事の後、役員人事を刷新したとしていますが、新役員が、真に信頼回復に努めるのであれば、不祥事の原因となった原発の稼働や再稼働準備工事を一端中止して、原発稼働の是非を再考すべきです。

「新型ウイルス」蔓延の中でも原発の運転や再稼働準備工事を継続し、人身事故を多発させている貴社・関電が、原発マネー不祥事を反省しているとは考えられず、原発の安全運転を保証する体制にあるとは考えられません。

以上のような視点に立って、私たちは、「新型ウイルス」の感染拡大の中でも、関電が若狭の原発を運転し続けていることに強く抗議し、以下を申し入れます。

- ① 「新型ウイルス」感染拡大の中でも運転中の高浜原発 4 号機、大飯原発 3、4 号機を即時停止してください。
- ② 関電が原発マネー不祥事の原因となった原発の運転を即時停止し、老朽原発再稼働のために進めている工事を中止して、社会に誠意を示してください。原発稼働の是非に関する議論は、企業倫理、法令遵守を徹底する体制が確立し、社会からの信頼を回復した後に、一からやり直してください。
- ③ とくに、危険極まりなく、重大事故の確率の高い老朽原発・高浜 1、2 号機、美浜 3 号機の運転反対は圧倒的な民意であることに鑑み、老朽原発の廃炉を決断してください。

なお、貴社が、私たちの再三の危険性指摘を無視して原発を稼働し続けて、重大事故が起こった場合、それは貴職らの故意による犯罪であり、許されるものではないことを申し添えておきます。

2020 年 4 月 29 日

「老朽原発うごかすな！大集会 in おおさか」実行委員会
(連絡先；木原壯林 090-1965-7102)